

サービスホールからのお知らせ

発電所の見学会へ是非ご参加ください

- ◆安全対策のご紹介を中心とした発電所の見学会を開催しています。お申し込み、詳細につきましてはサービスホールまでお気軽にお問い合わせください。

☆発電所構内ガイドツアー

※土日・祝日開催

- 【1便】 10:30～11:10
- 【2便】 11:30～12:10
- 【3便】 13:30～14:10
- 【4便】 14:30～15:10

【お願い事項】

- ・事前にサービスホールまでお申し込みの上、出発30分前までにサービスホール受付までお越しください。
 - ・発電所構内に入る際ご本人確認をさせていただきますので、運転免許証または住民基本台帳カード(顔写真付)をご持参ください。
- 【その他】
- ・サービスホールではお子様向けの催しも開催しておりますので、お子様連れのお客さまもぜひご来館ください。



工作教室

- ◆工作教室・電気教室(土日・祝日開催)
身近なリサイクル材料を使った工作や、電気のしくみに関する実験教室などを開催しています。
*12月20日～26日は毎日開催しています。
- ◆クリスマスツリーの展示(～12/25)
メッセージカードの飾り付けコーナーをご用意しています。

～臨時休館日のお知らせ～

工事等により下記期間臨時休館とさせていただきます。休館中にご不便をお掛けしますが、何卒ご理解をお願いいたします。【臨時休館日】2014年12月27日(土)～2015年1月15日(木)

【お問い合わせ】 サービスホール ☎ 0120-34-4053 (9:00～17:00)

(お問い合わせ)

みなさまの声を聞かせください

1. 「発電所の安全対策」について

2. その他、発電所に対するご意見・ご質問など

～地域の皆さまの声に真摯に耳を傾け、
信頼される企業を目指します～

みなさまからの
様々なご疑問に
本紙でお答えいた
します。

日頃から疑問に
思っていることやご意見等
をお寄せください。

2014年12月13日発行 (H26-R-9)
編集発行責任者
柏崎刈羽原子力発電所広報部
企画広報グループマネージャー
〒945-8601 柏崎市青山町16番地46
☎ 0120-120-448 (平日9～17時)

news
atom
ニュースアトム

地域とともに
東京電力
TEPCO
柏崎刈羽原子力発電所

2014年12月

発電所ニュース

火災発生時などの対応力強化に努めています

- ◆発電所では、火災の発生や負傷者発生を想定し、消防署への通報連絡から自衛消防隊による消火対応、負傷者の救助など災害発生時の対応訓練を行っています。
- ◆柏崎市消防署と合同の消防活動訓練を毎年実施し、連携した対応力強化に努めています。



自衛消防隊による消火模擬訓練



負傷者搬出前の放射線量測定



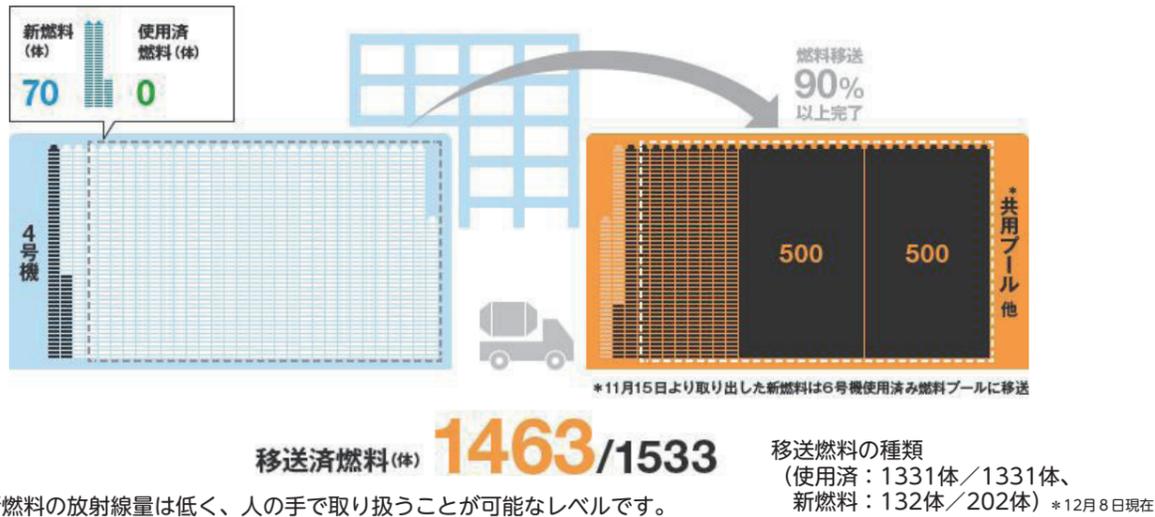
現場指揮本部での対応

福島第一4号機の使用済燃料取り出しを完了しました

- ◆福島第一原子力発電所4号機では昨年11月より使用済燃料プール内の燃料取り出し作業を行っています。
- ◆燃料は、燃料取扱機を用いて水中で一体ずつ輸送容器へ移動させ、トレーラーを用いて輸送容器を構内の共用プールまで移送します。
- ◆使用済燃料プール内に保管されていた燃料の1533体のうち、使用済燃料1331体の取り出しを11月5日に完了しました。残りの新燃料については、12月中に完了する予定です。引き続き、全燃料取り出しまで慎重に作業を進めてまいります。



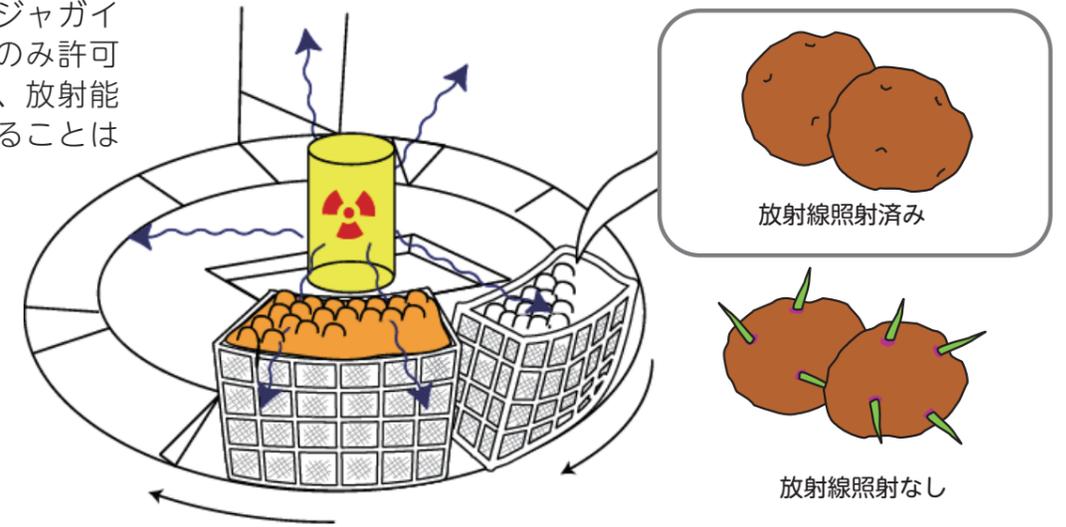
燃料の取り出し作業



※新燃料の放射線量は低く、人の手で取り扱うことが可能なレベルです。

～食品の品質を保持する～

- ◆放射線は、医療や工業分野のほか、農業分野でも食品の衛生化（殺菌など）や長期保存を可能にするなど、食品の品質を保持するために利用されています。
- ◆放射線の特性を利用すると、食品の温度を上げずに処理できるため成分変化が小さく、薬剤を使用しないで処理できるため残留毒性がありません。また、包装したままでも殺菌処理ができるため殺菌状態を保持できます。
- ◆大量の放射線を使用した場合には食味の低下や構成物質の化学変化などが起こることも報告されていますが、放射線照射した食品の安全性については、WHO（世界保健機関）などの国際機関により定められた線量以下であれば問題ないと宣言されており、世界50カ国以上の国で香辛料の殺菌処理など様々な食品への放射線照射が許可されています。
- ◆日本では現在、発芽防止目的のジャガイモへの照射のみ許可されており、放射能も検出されることはありません。



ジャガイモの照射施設（イメージ）

出典：原子力委員会食品照射専門部会「食品への放射線照射について」

みなさまの声にお答えします

Q.災害時に備え、様々なケースを想定した訓練をしてください。
A.県や市町村など関係機関と連携した防災訓練なども行っています。

発電所では、大規模地震などによる万一の事態発生に備えた総合的な事故収束対応訓練を繰り返し実施しています。

訓練では、全号機停止や電源機能が失われた状況、複数号機災害など様々なケースを想定し、参加者には事前に内容を知らせず、状況対応力を強化しています。

11月11日には、新潟県の原子力防災訓練に参加し、県や市町村等の関係機関と連携した災害対応訓練も実施しました。

今後も様々なケースを想定した訓練を繰り返し実施してまいります。



緊急時対策室での訓練の様子（11月11日）

【発電所ミニデータ】

- 柏崎刈羽原子力発電所で現在働く人は5,466人です。（11月4日現在）
- 内訳は以下のとおりです。

＜東京電力＞		(人)
柏崎市	819	
刈羽村	91	
その他	114	
県外	99	
＜合計＞	1,123	

＜協力企業*1＞		(人)
柏崎市	2,254	
刈羽村	186	
その他	923	
県外	980	
＜合計＞	4,343	(3,141*2)

*1 登録人数を計上
*2 11月4日の構内入構者数

料金受取人私郵便

郵便はがき

945-8790

東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部 行
(柏崎支店私書箱53号)

柏崎支店 承認 16

差し支えなければご記入ください

ふりがな
お名前
ご住所
年齢 歳 男・女

お電話番号

ご記入いただきました個人情報については、質問などへの回答、紙面づくりの参考以外では使用いたしません。

(2014年12月号)

945 8790 4

平成27年3月15日まで (切手不要)